

平成 29 年度低 NO<sub>x</sub>・低 CO<sub>2</sub> 小規模認定機器の販売製造状況について

認定要綱第 10 条の規定に基づき、認定書の交付を受けた者から報告された認定機器の製造及び販売の状況の概要は以下のとおりである。

## 1 報告対象機器数

(1) 低 NO<sub>x</sub>・低 CO<sub>2</sub> 認定機器

平成 20 年度の制度開始以降、平成 29 年度末までに認定した機器（代表型式）は 520 型式であり、このうち平成 29 年度の製造販売状況報告の対象機器（平成 28 年度末までに製造中止となった機器を除いたもの）は 396 型式である。

(2) 低 NO<sub>x</sub> 認定機器

平成元年度から平成 19 年度までの間に低 NO<sub>x</sub> 認定機器として認定した機器数は、代表型式で 1,215 型式であり、このうち、平成 29 年度の報告対象機器（低 NO<sub>x</sub>・低 CO<sub>2</sub> 認定機器へ移行した機器及び平成 28 年度末までに製造中止となった機器を除いたもの）は、合計 212 型式である。

## 報告対象機器型式数（平成 30 年 3 月末現在）

	低 NO <sub>x</sub> ・低 CO <sub>2</sub> 認定機器						
	合計	平成 27 年度以降認定			平成 26 年度以前認定		
		計	グレード AA	グレード A	計	超高効率	高効率
蒸気ボイラー	119(158)	72(91)	36(39)	36(52)	47(67)	23(30)	24(37)
内 5 m <sup>3</sup> 以上	75(94)	47(57)	29(31)	18(26)	28(37)	23(30)	5(7)
内 5 m <sup>3</sup> 未満	44(64)	25(34)	7(8)	18(26)	19(30)	0(0)	19(30)
温水ボイラー	10(27)	8(24)	3(13)	5(11)	2(3)	1(1)	1(2)
内給湯器	4(14)	3(13)	3(13)	0(0)	1(1)	1(1)	0(0)
内貯湯式	6(13)	5(11)	0(0)	5(11)	1(2)	0(0)	1(2)
温水発生機	80(821)	29(244)	9(69)	20(175)	51(577)	4(11)	47(566)
冷温水発生機	117(1631)	62(437)	17(79)	45(358)	55(1194)	36(1018)	19(176)
ガスヒートポンプ (GHP)	67(2538)	41(875)	17(491)	24(384)	26(1663)	21(1172)	5(491)
ユーティリティユニット (CGU)	3(14)	2(6)	—	2(6)	1(8)	—	1(8)
合計	396(5189)	214(1677)	82(691)	132(986)	182(3512)	85(2232)	97(1280)

※（ ）内は全型式数

※平成 26 年度以前に低 NO<sub>x</sub> 低 CO<sub>2</sub> 認定を取得した機器で、平成 27 年度以降に認定を再取得した機種は、平成 27 年度以降の欄に計上

## 2 販売台数

平成 29 年度の低 NOx・低 CO<sub>2</sub> 認定機器の全国販売台数は 44,404 台、都内販売台数は 5,386 台であった。また、低 NOx 認定機器の全国販売台数は 10,119 台で、都内販売台数は 1,745 台であった。

全国販売台数（平成 29 年度実績）

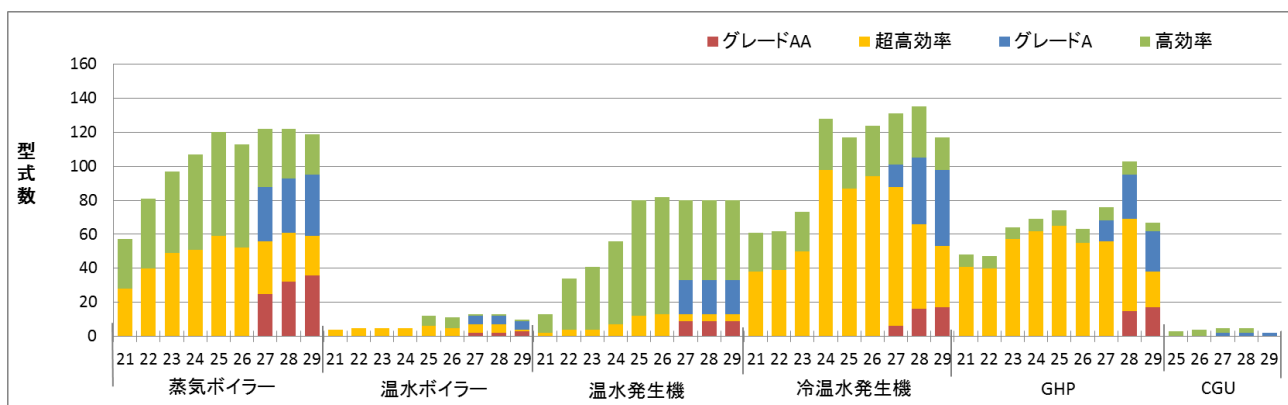
	低 NOx・低 CO <sub>2</sub> 認定機器						
	合計	平成 27 年度以降			平成 26 年度以前		
		合計	グレード AA	グレード A	合計	超高効率	高効率
蒸気ボイラー	2,060	1,763	1,093	670	297	113	184
内 5 m <sup>3</sup> 以上	1,279	1,143	871	272	136	113	23
内 5 m <sup>3</sup> 未満	781	620	222	398	161	0	161
温水ボイラー	16,512	15,931	15,868	63	581	569	12
内給湯器	16,437	15,868	15,868	0	569	569	0
内貯湯式	75	63	0	63	12	0	12
温水発生機	810	281	104	177	529	40	489
冷温水発生機	476	429	59	370	47	44	3
ガスヒートポンプ	24,395	23,963	10,327	13,636	432	11	421
C G U	151	86	—	86	65	0	65
合計	44,404	42,453	27,451	15,002	1951	777	1174

都内販売台数（平成 29 年度実績）

	低 NOx・低 CO <sub>2</sub> 認定機器						
	合計	平成 27 年度以降			平成 26 年度以前		
		合計	グレード AA	グレード A	合計	超高効率	高効率
蒸気ボイラー	295	253	147	106	42	2	40
内 5 m <sup>3</sup> 以上	142	136	113	23	6	2	4
内 5 m <sup>3</sup> 未満	153	117	34	83	36	0	36
温水ボイラー	2,462	2,348	2,347	1	114	107	7
内給湯器	2,454	2,347	2,347	0	107	107	0
内貯湯式	8	1	0	1	7	0	7
温水発生機	136	36	9	27	100	2	98
冷温水発生機	86	81	19	62	5	5	0
ガスヒートポンプ	2,382	2,318	1074	1,244	64	0	64
C G U	25	17	—	17	8	—	8
合計	5,386	5,053	3,596	1,457	333	116	217

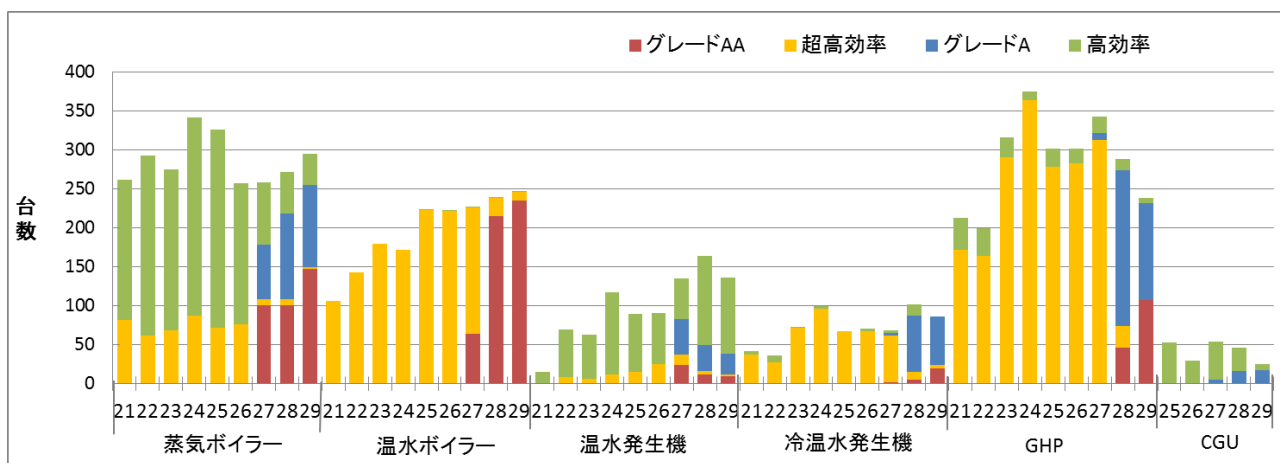
### 3 低 NOx・低 CO<sub>2</sub> 認定機器の報告対象機器数及び都内販売台数の推移

#### (1) 報告対象機器数（代表型式数）の推移



いずれの種類のも機器においても、低 NOx・低 CO<sub>2</sub> 認定制度の製造事業者への認知が進み、対応した機器が開発、申請されたことにより報告対象機器数が増加してきたが、冷温水発生機及び GHP 以外はここ数年は横ばいとなっている。冷温水発生機及び GHP については、新規申請数が製造を中止した代表型式数を下回り、減少した。

#### (2) 都内販売台数の推移



\* 温水ボイラー及び GHP の都内販売台数は、目盛×10（台）

都内販売台数の多い温水ボイラーは、販売台数のほとんどを超高効率及びグレード AA の機種が占めている。また、蒸気ボイラーはグレード AA 及び超高効率の割合が半数を占めた。蒸気ボイラー、冷温水発生機及び GHP は、前年に比グレード AA が増加した。